優良住宅部品性能試験方法書

Methods of Testing Performance for Quality Housing Components

内窓

Inner Windows

BLT WDU:2026

２０２６年４月１５日公表・施行

一般財団法人 ベターリビング

Ⅰ　性能試験項目

優良住宅部品認定基準において、試験により性能等を確認する項目並びに試験方法等は下表によるものとする。

性能試験項目名	性能試験方法	備考
気密性試験	JIS A 1516：1998（建具の気密性試験方法）	
断熱性試験（試験）	JIS A 4710：2004（建具の断熱性試験方法）	
断熱性試験（計算）	ISO 10077-1(窓及びドアの熱性能、熱貫流率の計算)	
遮音性試験	JIS A 1416：2000（実験室における建築部材の空気遮断性能の測定方法）	
開閉力試験	JIS A 1519：2020（建具の開閉力試験方法）	
開閉耐久性試験	JIS A 1530：2014（建具の開閉繰り返し試験方法）	
プラスチックの耐薬品性試験	BLT WDU-01	（別表 1）

Ⅱ　試験体

試験体の種別、形状、個数については性能試験方法で示すとおりとする。ただし、個数の下限は当財団の判断によるものとする。

また、試験体は認定申請時に提出された設計図書の図面、仕様書の内容と同一のものであるとし、差異のある場合は、追加試験の要請もあり得る。

Ⅲ　試験結果の提示

定量的に表示しうるものは図表化を図ること。また、外観観察については具体的に、何が、いつ、どのような状態になったかを試験目的にそって簡潔に記述すること。なお、試験体、試験装置は詳細図を添付し、また、試験結果を示す有効な場合は写真を添付すること。

優良住宅部品性能試験方法（内窓）

別　表	1

(1)試験方法名称		耐薬品性試験	試験番号	BLT WDU－01	
(2)関連要求項目および性能		Ⅱ.要求事項　1　住宅部品の性能等に係る要求事項 1.2 安全性の確保　1.2.1 機械的な抵抗力及び安全性の確保 a)耐薬品			
(3)試験の目的		一般家庭で使用される洗剤等の薬品に対する抵抗力を調べる			
(4)試験体		種別レベル	プラスチック製成型品の平坦部から長さ約４０㎝の試験体を採取する。	個数	1
(5)試験方法	(5-1)概要	試験体に各薬品を滴下させ、２４時間後に試験体表面の変化の有無を調べる。			
	(5-2)試験機 試験装置 測定装置	次亜塩素酸ソーダ（５～１０％）、塩酸（３％）、水酸化ナトリウム（５％）、家庭用殺虫剤（蚊・ハエ用）			
	(5-3)試験体の前処理方法・条件	試験体の状態調整（４８時間以上）および試験条件は、温度２３±２℃、相対温度５０±５％とする。			
	(5-4)試験方法の詳細	①試験体を水で洗浄し、乾燥したガーゼで水分を完全に拭い去る。 ②５～１０％次亜塩素酸ソーダ、３％塩酸、５％水酸化ナトリウムおよび家庭用殺虫剤を各々試験体表面の平坦部に滴下させ、２４時間静置する。 ③その後水で洗浄した後、乾燥した清浄なガーゼで拭ってから１時間放置し、試験体表面の変化の有無を目視により観察する。 ④試験体表面の変化の程度は次による。 Ａ：水で洗浄した後に目視による外観観察で、色調組織等に変化のないもの。 Ｂ：表面に汚染は残るが、エチルアルコールで容易に除去できるもの。 Ｃ：エチルアルコールでは容易に除去できないが、家庭用クレンザーで表面を傷付けることなく容易に除去できるもの。 Ｄ：表面の汚染が容易に除去できない状態に汚染・侵食されているもの。			
(6)試験結果の表示		試験体表面の変化の程度			
(7)注意事項		表面の汚染が容易に除去できない状態に汚染・侵食された場合には、該当する薬品を含む洗剤等の使用禁止を製品の取扱説明書等に明確に記述すること。			